

ね、弟が無理云うんでせう」といって側に行らま
すと、弟は「おっ母さん此間おっ母さんは、何事
でも弟は下手になるもんだと仰りましたから、私
は今手を温めるのに、兄さんより下手にならうと
しますのに、兄さんが聞かないで矢張下手に來る
んですもの」

狐のれ土産

獨醒軒主人

近隣の獵師或る日山に獵に行つて諸所方々を
かけまわつて居たが藪の蔭から年經た一匹の古狐
が出てきた獵師は用意の肩の銃をふるしねらいを
つけ火蓋を切れば過たず狐の横腹を打ち貫いた。
狐は苦さの餘り瀕りに土手の所を掻きまわしてと
一と其場に死んでしまつた、獵師は狐を持ち歸る

一とした所が山芋を澤山掘り出してあつた、此れ
は狐が苦さのあまり掻き出したのであつた、獵師
は大に喜んで山芋を包む爲めにそこいらの萱を切
りにいつた所が此にも雉子の卵子が十三ありまし
たとさ めでたし〜

懸賞考へ物當撰ひろ一

- (1) 十八を二分して鳥の名一つ。 ほと(八、十)
- (2) 六を二分して草の名一つ。 いちご(二、五)
- (3) 二十四を二分して家道具の名一つ。 ごとく(五
十、九)
- (4) 千〇十を三分して日本の札所。 那智山(七、千

三

(1) 私は大變子供に好かれる滋養品で、原籍は外國
です。頭の數と足の數とを合すと十二になりま

す。倒に立つと菓物の樹になります。みるく

(三〇、九)

受賞者

●一番。中村秋香著 菅公傳

赤坂區新坂町六番地 淺岡はま子

●二番。金昌堂發行 加藤清正

麹町區土手三番町三十九番地 岡松磯次郎

●二番。同 兒童候文例

牛込區北山伏町二十三番地 尺 秀 實

先月九日何れも賞品を發送しました(やまとの翁)

●おことはり。

さて此仕方ですと、地方の方は何時も遅くなって
損です。から此次からは懸賞の仕方を次の様にしま

●懸賞問答

皆さんのお考の甘いには、さすがの翁も驚きましたね、じゃあ、今度は中々そー一寸は答への出来ない問を出しますから

- (一) 一羽の鳥を にはとり とは？
- (二) 幾つあつても じゅーぼこ(重箱)とは？
- (三) 衣るものでないに させる(煙管)とは？
- (四) 一枚の紙を はんし(半紙)とは？
- (五) 真中を通りながら はし(橋)を渡るとは？

これ 皆甘くれ答の出来た人には、またく三人まで 御褒美く。

- 切期限 本月十五日までに到着の中で撰ぶ
- 解答は封書に限る。端書は無効。封紙には婦